

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月28日

上場会社名 株式会社トーエネック

上場取引所 東 名

コード番号 1946 URL <http://www.toenec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 洋

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 三浦 務

TEL 052-221-1111

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	106,587	△8.4	△433	—	118	△95.9	△230	—
21年3月期第3四半期	116,387	—	2,268	—	2,895	—	2,713	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△2.45	—
21年3月期第3四半期	28.88	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	157,969	78,308	49.6	835.85
21年3月期	170,660	78,789	46.2	838.68

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 78,308百万円 21年3月期 78,789百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	5.00	—		
22年3月期 (予想)				5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	161,000	△7.1	2,100	△63.3	2,700	△57.7	1,200	△74.6	12.79

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 96,649,954株 21年3月期 96,649,954株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 2,963,063株 21年3月期 2,705,784株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 93,877,876株 21年3月期第3四半期 93,980,715株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と大きく異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

※ 平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	158,000	△6.3	2,000	△61.8	2,400	△59.1	1,000	△76.6	10.66

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な在庫調整の進展や国内外の経済対策を背景として外需を中心に持ち直してきましたが、自律性に乏しく失業率は依然として高水準にあるなど、本格的な景気回復には至らない状況でありました。

当業界におきましては、設備過剰感はやや弱まっているものの依然として高水準にあり、民間設備投資は大幅に減少し、公共工事も相変わらず低調であり、受注・価格競争激化が継続するなど厳しい経営環境にありました。

このような状況下にあります、当社グループは平成21年度を初年度とする中期経営計画の、①収益向上を目指した受注戦略の推進 ②経営効率の向上 ③経営管理体制の強化 ④人材の育成強化 など、持続的成長戦略の足固めの諸施策を推進いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は次の通りとなりました。

〔連結業績〕	売上高	106,587百万円
	営業損失	433百万円
	経常利益	118百万円
	四半期純損失	230百万円

売上高につきましては、中部電力向けの工事は増加したものの、民間設備投資が大幅に減少するなか、主力の屋内線工事など一般得意先向けの工事が大きく落ち込み減収となりました。利益面につきましては、厳しい受注環境による売上高の減少などから、工事採算性が低下し大幅な減益となりました。

なお、当社グループの業績の特性は、第2四半期及び第4四半期の売上高の割合が大きいのに対し、販売費及び一般管理費等の固定費は1年を通じて恒常的に発生することから、第1四半期及び第3四半期の売上高に対する費用負担が大きくなる傾向があります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は157,969百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,691百万円減少しました。これは受取手形・完成工事未収入金等の減少（14,330百万円）、未成工事支出金の増加（3,787百万円）などの要因によるものです。

負債につきましては、支払手形・工事未払金等の減少（12,769百万円）などの要因により、前連結会計年度末に比べ12,210百万円減少し、79,660百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少（1,169百万円）、評価・換算差額等の増加（829百万円）などにより、前連結会計年度末に比べ480百万円減少し、78,308百万円となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フロー及び投資活動によるキャッシュ・フローにおける資金の増加が財務活動によるキャッシュ・フローにおける資金の減少を上回ったことにより6,555百万円増加し、32,413百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益147百万円、減価償却費3,091百万円、売上債権の減少14,235百万円、未成工事支出金の増加3,790百万円、仕入債務の減少10,112百万円、未成工事受入金の増加3,623百万円、法人税等の支払額1,607百万円などにより、592百万円の資金増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出9,149百万円、定期預金の払戻による収入17,355百万円、有価証券の取得による支出9,895百万円、有価証券の売却による収入13,450百万円、有形固定資産の取得による支出3,053百万円などにより、8,944百万円の資金増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入500百万円、長期借入金の返済による支出953百万円、リース債務の返済による支出1,284百万円、配当金の支払額903百万円などにより、2,985百万円の資金減少となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済動向につきましては、海外経済の改善のもとで輸出や生産は増加を続けており、景気は持ち直しているものの、当面そのペースは緩やかなものにとどまると考えられます。一方、雇用情勢の悪化や海外景気の下振れ懸念に加え、円高の進行やデフレの継続など景気を下押しするリスクが存在しており、先行きへの懸念が強まっています。

当業界におきましては、企業収益が低水準で依然として設備過剰感があることを背景に、民間設備投資の減少による受注・価格競争激化の継続は避けられず、加えて新政権の事業見直しによる公共工事の削減が予想され、一段とその厳しさは増すと思われまます。

こうした状況下にあります、当社グループは中期経営計画（平成21年度から平成23年度まで）に基づく諸施策を推進するとともに、受注の確保・拡大とコスト競争力の強化、利益の確保などの課題克服に向け総力を結集し取り組む所存であります。

このような状況を踏まえ、通期の業績予想は以下の通りであります。

〔連結業績予想〕	売上高	161,000百万円
	営業利益	2,100百万円
	経常利益	2,700百万円
	当期純利益	1,200百万円

なお、通期の業績予想につきましては、平成21年10月30日に発表いたしました予想数値からの変更はありません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### 完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、主に長期大型工事（工期12ヵ月以上、かつ請負金額5億円以上）については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しておりましたが、第1四半期連結会計期間から「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）が適用されたことに伴い、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の現実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗度の見積りは主に原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、平成21年3月31日以前に着手した工事契約のうち、長期大型工事（工期12ヵ月以上、かつ請負金額5億円以上）については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を引き続き適用しております。

これにより、従来の方法によった場合と比べ、当第3四半期連結累計期間に係る完成工事高は2,888百万円増加し、営業損失が220百万円減少、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ220百万円増加しております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	19,408	26,520
受取手形・完成工事未収入金等	25,347	39,678
有価証券	10,904	12,458
未成工事支出金	12,325	8,538
材料貯蔵品	2,103	1,907
商品	97	95
繰延税金資産	2,559	2,499
その他	7,062	2,086
貸倒引当金	△195	△317
流動資産合計	79,614	93,467
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	42,948	41,922
機械、運搬具及び工具器具備品	21,270	21,333
土地	26,711	25,264
建設仮勘定	456	94
減価償却累計額	△42,743	△41,228
有形固定資産合計	48,643	47,387
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	15,817	14,433
繰延税金資産	11,824	12,693
その他	2,218	2,794
貸倒引当金	△1,167	△1,300
投資その他の資産合計	28,692	28,619
固定資産合計	78,354	77,192
資産合計	157,969	170,660

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	23,068	35,838
短期借入金	4,156	4,553
未払費用	4,087	5,607
未払法人税等	111	1,658
未成工事受入金	5,784	2,161
その他	4,599	3,534
流動負債合計	41,809	53,353
固定負債		
長期借入金	191	210
退職給付引当金	32,354	33,000
役員退職慰労引当金	48	73
その他	5,256	5,233
固定負債合計	37,851	38,517
負債合計	79,660	91,871
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,680	7,680
資本剰余金	6,839	6,839
利益剰余金	62,570	63,740
自己株式	△1,403	△1,263
株主資本合計	75,687	76,997
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,881	1,169
繰延ヘッジ損益	658	538
為替換算調整勘定	80	84
評価・換算差額等合計	2,621	1,791
純資産合計	78,308	78,789
負債純資産合計	157,969	170,660

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	116,387	106,587
売上原価	101,780	94,626
売上総利益	14,607	11,961
販売費及び一般管理費	12,338	12,394
営業利益又は営業損失(△)	2,268	△433
営業外収益		
受取利息	198	129
受取配当金	150	88
受取地代家賃	127	119
持分法による投資利益	280	352
その他	142	135
営業外収益合計	899	824
営業外費用		
支払利息	156	240
為替差損	51	3
その他	64	29
営業外費用合計	272	272
経常利益	2,895	118
特別利益		
固定資産売却益	202	—
貸倒引当金戻入額	66	98
投資有価証券売却益	28	28
事業分離における移転利益	67	—
スワップ解約益	3,827	—
特別利益合計	4,192	127
特別損失		
固定資産除売却損	127	49
減損損失	125	8
貸倒引当金繰入額	0	—
投資有価証券評価損	212	39
燃料関連事業解約損	1,664	—
特別損失合計	2,130	97
税金等調整前四半期純利益	4,957	147
法人税、住民税及び事業税	987	119
法人税等調整額	1,256	258
法人税等合計	2,243	378
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,713	△230



(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,957	147
減価償却費	3,070	3,091
減損損失	125	8
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△41	△256
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△42	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△776	△645
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△195	△24
その他の引当金の増減額(△は減少)	△162	—
受取利息及び受取配当金	△348	△217
支払利息	156	240
為替差損益(△は益)	△0	0
投資有価証券評価損益(△は益)	212	39
投資有価証券売却損益(△は益)	△28	△28
持分法による投資損益(△は益)	△280	△352
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	△74	49
売上債権の増減額(△は増加)	16,241	14,235
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△8,132	△3,790
たな卸資産の増減額(△は増加)	69	△198
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,572	△10,112
未成工事受入金の増減額(△は減少)	2,967	3,623
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,436	224
その他	△712	△3,835
小計	5,995	2,199
法人税等の支払額	△4,843	△1,607
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,152	592
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△24,353	△9,149
定期預金の払戻による収入	18,584	17,355
有価証券の取得による支出	△11,945	△9,895
有価証券の売却による収入	16,000	13,450
投資有価証券の取得による支出	△4	△6
投資有価証券の売却による収入	58	128
貸付けによる支出	△2	—
貸付金の回収による収入	14	18
有形固定資産の取得による支出	△2,369	△3,053
有形固定資産の売却による収入	1,077	0
利息及び配当金の受取額	363	227
事業譲渡による収入	1,489	—
その他	△166	△130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,253	8,944

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,417	39
長期借入れによる収入	—	500
長期借入金の返済による支出	△2,392	△953
自己株式の取得による支出	△41	△140
自己株式の売却による収入	6	0
リース債務の返済による支出	△404	△1,284
利息の支払額	△165	△244
配当金の支払額	△902	△903
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,482	△2,985
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,623	6,555
現金及び現金同等物の期首残高	30,110	25,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,486	32,413

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

6. その他の情報

当社個別の経営成績、部門別受注高は次の通りであります。

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	104,672	△6.9	△570	—	△209	—	△416	—
21年3月期第3四半期	112,469	—	1,898	—	2,445	—	2,323	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△4.44	—
21年3月期第3四半期	24.72	—

(2) 部門別受注高(累計)

部門別		平成21年3月期 第3四半期実績	平成22年3月期 第3四半期実績	比較増減	増減率
		百万円 %	百万円 %	百万円	%
受 注 高	配電線工事	53,067 (41.1)	56,918 (49.5)	3,850	7.3
	地中線工事	5,049 (3.9)	5,228 (4.5)	178	3.5
	通信工事	12,459 (9.7)	13,183 (11.5)	724	5.8
	屋内線工事	49,270 (38.2)	31,718 (27.6)	△17,551	△35.6
	空調管工事	6,162 (4.8)	5,691 (5.0)	△471	△7.6
	計	126,008 (97.7)	112,739 (98.1)	△13,268	△10.5
	商品販売	2,940 (2.3)	2,211 (1.9)	△729	△24.8
合計	128,949 (100.0)	114,950 (100.0)	△13,998	△10.9	

(注) ( )内のパーセント表示は、構成比率を示しております。